

平成28年度第1回 長野市廃棄物減量等推進審議会 議事録【要旨】

【開催概要】

開催日時：平成28年10月12日（水）14時00分～16時30分

開催場所：長野市役所第一庁舎7階 第二委員会室

【次第】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 環境部長あいさつ
- 4 議 事
 - (1) 一般廃棄物処理基本計画について
 - (2) 一般廃棄物（し尿及び生活雑排水）処理手数料の改定について
- 5 その他
- 6 閉 会

【会議資料】

- ・資料1 一般廃棄物処理基本計画策定専門部会における意見及び審議経過について（報告）
- ・資料1別紙1-1及び1-2 長野市一般廃棄物処理基本計画について及び長野市ごみ処理基本計画基本理念について
- ・参考資料1 第1回一般廃棄物処理基本計画策定専門部会
- ・参考資料2 第2回一般廃棄物処理基本計画策定専門部会
- ・参考資料3 第3回一般廃棄物処理基本計画策定専門部会
- ・参考資料4 第4回一般廃棄物処理基本計画策定専門部会
- ・資料2 一般廃棄物（し尿及び生活雑排水）処理手数料改定専門部会における意見及び審議経過について（報告）
- ・資料2別紙 一般廃棄物（し尿及び生活雑排水）処理手数料改定案について
- ・参考資料5 第1回一般廃棄物（し尿及び生活雑排水）処理手数料改定専門部会
- ・参考資料6 第2回一般廃棄物（し尿及び生活雑排水）処理手数料改定専門部会
- ・参考資料7 第3回一般廃棄物（し尿及び生活雑排水）処理手数料改定専門部会

【出席委員】 12名

【欠席委員】 3名

【事務局】 15名

【報道・傍聴者】 0名

【会議内容(要旨)】

1 開 会

◇会議の成立と公開について報告（事務局）

2 会長あいさつ

本日は、お忙しいところ、ご出席いただき感謝申し上げます。

本日の審議については2点ある。2点とも昨年度本審議会へ諮問のあった件であるが、1つ目が「長野市一般廃棄物処理基本計画」の策定状況についての中間報告、2つ目が「一般廃棄物（し尿及び生活雑排水）処理手数料の改定」について答申案の決定である。

ご検討いただいた各専門部会の委員においては、大変ご苦勞いただき、感謝申し上げます。本日は活発なご意見・ご討議をお願いします。

3 環境部長あいさつ

本日は、お忙しいところご出席いただき、感謝申し上げます。

会長のあいさつにもあったが、2つの専門部会を設置して、何度にもわたりご討議いただき、誠に感謝申し上げます。

本日は、「長野市一般廃棄物処理基本計画」及び「一般廃棄物（し尿及び生活雑排水）処理手数料の改定」についてご審議をお願いしたい。

この場をお借りして、最近の環境部の取り組みを紹介させていただく。10月2日に清掃センターにおいてながの環境フェア2016を開催した。今年は3,900名の方においでいただいた。今年のテーマは「限りある資源を活かし再利用」ということで、リサイクルあるいはごみの減量について身近に感じていただいたと思う。

また、9月21日は市職員を対象としたフードドライブ、22日は市民を対象とした「ご縁」フードドライブを開催した。お米等温かいご寄贈をいただいた。食品ロスはもとより、地域と繋がり合う社会、思いやりある社会に結びつく取り組みだと考えているため、継続していきたい。

4 議 事

(1) 一般廃棄物処理基本計画策定について

◇資料1「一般廃棄物処理基本計画策定専門部会における意見及び審議経過について（報告）」及び資料1別紙1-1及び1-2「長野市一般廃棄物処理基本計画について及び長野市ごみ処理基本計画基本理念について」により説明（事務局）

<以下、質疑応答>

（ごみ処理基本計画について）

（会 長） 基本理念（案）について、第4回専門部会時には「地域循環」という表現が含まれていたが、この表現は入れなくても良いか。長野市では、

剪定枝葉が地域内でリサイクルされており、特徴的な取り組みと考えられる。

(事務局) 本市では、剪定枝葉のリサイクルに加え、木質バイオマス資源を活用した地域内循環という仕組みの構築を目指している。一方で、ごみについては、他の自治体にお願いせざるを得ない資源も多い。基本理念(案)は、専門部会でのご意見を踏まえるとともに、上位計画である長野市総合計画や長野市環境基本計画との整合性を図り、このような表現にさせていただいた。

(委員) 基本理念(案)には主題と副題があるが、主題のほうが長くなっている。主題と副題を逆転させて、主題を短いものにしたほうが良いのでは。

(事務局) 単純に逆転させると、「心地よいくらし」という表現が最初に来ることになり、「心地よいくらし」とはどのようなものを指すのかわかりにくくなる。

(委員) 一目で理解できるような表現がよい。

(委員) 3R+Rの「+R」は、新しい内容で良い取り組みだと思う。

(生活排水処理基本計画について)

(委員) 未処理水(垂れ流し)対策に取り組むとあるが、具体的にどのように取り組むのか。また、下水道が整備されない少数派の地域に対して、きめ細かい支援や啓発を行ってほしい。水源に近い地域もあるため、環境のためにも重要と考える。

(事務局) 現行計画においては、未処理水への対応がほとんどなされてこなかった。今回手数料改定の議論の中で、下水道や浄化槽を介さずに流している世帯が多数存在することが見えてきた。水洗化しない理由として、経済的な理由や高齢化、家屋の老朽化等が挙げられることから、単純に手数料を上げれば下水道への接続等に結びつくという状況ではない。今後、具体的にどのように対応していくかが重要な課題と受け止めている。

(委員) 合併処理浄化槽設置の補助申請の機会が年1回と限られていて、手続きも煩雑であるため、設置を諦めざるを得ない状況もあるのではないか。

(事務局) 上下水道局も関係する部分であるため、今後同局と連携して下水道整備以外のことについても検討していきたい。

(会長) 今回は中間報告であるため、引き続き専門部会委員には議論をお願いしたい。

(2) 一般廃棄物(し尿及び生活雑排水)処理手数料の改定について

◇資料2「一般廃棄物(し尿及び生活雑排水)処理手数料改定専門部会における意見及び審議経過について(報告)」及び資料2別紙「一般廃棄物(し尿及び生活雑排水)処理手数料改定案について」により説明(事務局)

<以下、質疑応答>

(生活雑排水処理手数料について)

(副会長) アンケート調査が行われ、下水道接続しない理由等の把握はできたが、さらなる実態把握が必要である。し尿収集が全市委託化されたことも踏まえ、直接未接続世帯の個別の状況を把握した上で、新たな方針を検討したほうがよい。

(委員) 前回の手数料改定の際には、下水道利用料との均衡を考慮して改定したが、今回はどうか。

(事務局) 生活雑排水処理に対する市の補助割合を6割から5割に下げることにより、利用者負担は増加することになるが、下水道利用者と比較すると97～99%の負担割合である。

(委員) 3万件、8千件という数値は何を指すのか。

(事務局) 3万件は、簡易浄化槽の延べ設置件数であり、現在は約2,000基が設置されている。し尿の収集件数が約1万件であるのに対し、生活雑排水の収集件数が約1,800件で、その差の約8千件が簡易浄化槽を設置せずに未処理水を垂れ流ししていると思われる世帯である。

(答申案について)

(事務局) 「3 附帯意見」の(5)について、案では「利用者個別の状況の把握に努める」としているが、浄化槽未設置で垂れ流しとなっている世帯が含まれないことから、「排出者」と置き換えてはどうか。

(委員) (1)では「受益者」や「市民」という言葉が使われており、整合を取る必要がある。

(委員) 浄化槽を設置していない世帯も同じ文章に含めてしまうと、内容が混同してしまう。浄化槽未設置世帯の状況把握については、新たに項目を設けてはどうか。

(事務局) ご意見を踏まえ、本答申の附帯意見については、浄化槽を設置し生活雑排水処理を行っている世帯に限定し、浄化槽未設置の世帯に関しては、生活排水処理基本計画に盛り込むという形で整理したい。

(会長) 事務局が提案した形で整理するということが良いか。

≪「はい」という声あり≫

(事務局) 今後の予定について、10月28日に市長日程を確保している。

(会長) 事務局からの案内のとおり、市長答申を行いたいと思うがいかがか。

≪「はい」という声あり≫

7 その他

○家庭ごみの指定袋について、現在一番小さいサイズは10リットルのものだが、単身世帯で生ごみの自家処理等をされている人はごみが少なく、10リットルでも余ってしまう。さらに小さい7リットルくらいの袋を用意していただくとありがたい。

(委員)

○みどりのはがき等でもそういったご意見はいただいている。ただ、経費の関係もあるためご意見として承る。(事務局)

○本日の議事録は、事務局でまとめたものをお送りし、承認後に公開したい。簡単な日時や概要等をまとめた簡易的な開催結果と本日の資料は、別途ホームページで公開させていただく。(事務局)

8 閉会

(16時30分閉会)